

「交通死亡事故多発！！」 ～ 11月中に5件の交通死亡事故が発生 ～

宮城県内の交通死亡事故は、11月24日現在「40件 40人」で、昨年より3件3人増加しています。11月中に発生した、5件中4件が歩行者の死亡事故です。原因は様々ですが、今の季節は、日没が早いことや朝の太陽のまぶしさなど安全確認が不十分になる要因が多くあることから十分に注意しましょう。

事故を防止するために

- 安全な速度を維持して、確実な安全確認をしましょう
- 夕暮れ時は、早めにライトを点灯しましょう
- ハイビームを活用して、安全な視界を確保しましょう
- 横断歩道がある場合は、必ず歩行者の有無を確認しましょう

「夕暮れ時の交通事故防止」

- ① **早めのライト点灯を心がける**
日没が近づき周囲が薄暗くなってもライトを点灯しないドライバーがいます。日没より早めにライトを点灯して、ドライバーや歩行者の注意を喚起しましょう
- ② **速度を上げ過ぎない**
ロービームが届く距離は、約40メートルで、昼間より歩行者などを発見しずらくなります。昼間より速度を下げるくらいの気持ちで走行しましょう
- ③ **右から渡ってくる歩行者に注意**
様々な原因から、ドライバーから見て左側から横断してくる歩行者は比較的発見しやすいのですが、右側から横断する歩行者には気づきにくいといわれています。これは、ドライバーの注意が、進行方向左側の自転車や歩行者に向きがちな上に、車のヘッドライトが対向車への配慮から左側に寄っていることも一因です。右側への注意を忘れずに
- ④ **信号を無視する車の存在を頭に入れておく**
交通量が減少すると故意に信号無視をする車が存在します。青信号で交差点を通過する場合でも交差する道路の安全確認に配慮しましょう
- ⑤ **無灯火、右側走行の自転車に注意**
無灯火の自転車が少なからずあります。特に右側を走行して近づいてくる無灯火の自転車に注意が必要です
- ⑥ **黒っぽい服装の歩行者に注意**
これからの季節は、夏と違い黒っぽい服装の人が増えてきます。発見が遅れがちになるので注意が必要です
- ⑦ **雨の夜間は特に注意**
雨の夜は視認性が特に悪化するので注意が必要です。フロントガラスやサイドガラスの油膜を除去しておきましょう
- ⑧ **ハイビームを活用する**
ハイビームでは、100メートル程先まで照射でき、視認性が向上します。ハイビームを有効に使いましょう。ただし、ハイビームでも左右の照射範囲には、限りがあることから、特に右側の暗がりから出てくる歩行者などに注意しましょう

